



つなぎに着替えて作業スタート



ハンドルに部品を組み付ける作業



部品集めは細かくてひと苦労

3年前の創業150周年記念事業から 小学生の夏休み就業体験に

燕市小池、除雪機や草刈り機など製造のフジイコーポレーション(株)(藤井大介代表取締役)は九日、同社で小学生の就業体験の研修「うわきつず」を行った。

つなぎに着替え「除雪機製造」 4工程のうち2つを体験

一八六五年創業の同社塗装は機械作業だが、そのものは農機業界で国内二番目に先立ち部品をハンガの歴史を誇る。研修は実践から仕事のやりがいなどを学んでもらう夏休み企画で、三年前の創業五十周年に合わせて始め、こととして四回目。

後半の二工程では塗装されたハンドル部などにレバーやワイヤなどを組み付け、それらを完成形に組んだ。

タイトルは「ワーク

ナットをめぐねレンチ

と「キッズ」を絡めた造語。三年生以上の小学生と保護者五組・十人が参加した。

で締めたり、エンジンを開始させたり、機械の安全機構が作動するまでの時間を計測・点検したり

午前九時二十分からのオリエンテーションのあと、子どもたちは制服のつなぎに着替えて安全めがねをつけ、除雪機製造の四つの工程のうち二つを三十分ずつ体験した。

通年で除雪機を製造している広い工場では、約三十人の従業員がそれぞれの業務に当たっていた。部分的に送風機はあ

た。仕事の間は架空通貨「うわきつずマネー」を給料として受け取り、開店した即席の売店で弁当などを買って昼食に食べた。休憩のあと、退社式を行って午後二時ごろ終わった。

最初の工程は機械を構成する大小五百以上の部品を膨大なストックから集め、台車で搬送。続けた。

部分にはなじみのない作業ばかり。部品や工具を扱う手つきはきちなかつたが、担当従業員の丁寧な指導でどこにかクリアした。

部品集めなどを体験した燕市小池六年の武藤美々さん(三)は「たくさん部品があつてすごかつた。部品は細かくて、一つひとつ集めるのは大変でした」と話した。

本物の切れ味——
鉋典（印刷・鋳造・鍛造）
五十嵐又物工業株式会社
三葉 五二五九九八



安全機構の動くまでの時間を計測する作業